

新型インフルエンザ対策の強化を求める要望書

流山市長 井崎 義治 様

平成21年11月18日

日本共産党流山市議団

高野 とも

乾 紳一郎

小田 桐 仙

徳増 記代子

新型インフルエンザの発症者が全国で57万人を超え、死者も57人（11月1日現在）を超えました。去る11月5日、本県においてもインフルエンザ警報が発令されました。今秋から、市内でも感染者が急増しており、さらに感染拡大が懸念されます。休校、学年・学級閉鎖が続いており、市民からは不安の声が上がっております。

慢性疾患の患者、妊婦、子どもや高齢者など重症化の危険が高いとされる市民への感染防止策と、感染した場合の対応策、救急患者の受け入れ病院の確保策等について、市としての対策が求められています。

また、市民の不安解消のためにも正確で迅速な情報提供は不可欠であり、あらゆる方法で市民に徹底を図ることが急務です。

そのためには、市独自の努力とともに国、県への財政援助を要請し、大流行に対応できる検査体制やワクチン・治療薬の確保、国・自治体・医療機関の情報交換と医療体制の強化など、万全を尽くす必要があります。

よって以下のとおり、新型インフルエンザについての緊急対策を要望します。

記

【要望事項】

- 一、慢性疾患の患者、妊婦、子どもや高齢者など重症化の危険が高いとされる市民への感染防止と重症化防止策を強化すること。
- 二、正確で迅速な情報提供を市民と関係機関に行い、受託医療機関をHP掲載以外でも市民に周知すること。
- 三、国、県への財政援助と、大流行に対応できる検査体制やワクチン・治療薬の確保を急ぐよう要請すること。
- 四、市としても、新型インフルエンザ予防接種への助成をはかること。
- 五、患者が早期に医療機関に行けるよう、資格証明書はやめて、保険証を交付すること。

以上